



吉崎別院便り

バラバラでいっしょ！ になれるところ



9月1日蓮如講聞法会が開かれ、約15人以上がお聴聞されました。講師・五辻信行師（当別院輪番）は現代の多宗教時代の中において、親鸞聖人一流の教えを聞くことの大切さと、聞法による、徹底した自己批判の姿勢の必要性を熱心にお話しくださりました。蓮如講聞法会は、北陸在住の蓮如講員を中心に毎年2回開かれ、吉崎別院を会場に平成17年の結成以来続けられています。蓮如講結成に携わった中村清さん（あわら市在住）

蓮如講聞法会

は、「何のた
めに日本に吉
崎別院が存在
するの？そ
の意味を未
永劫に亘り確
かめ、伝えて
いく使命を強
く感じて結成
せよ。おれ
なかつた。一
と当時を振り
返り、蓮如講
の興隆と存続
を強く願って
います。

蓮如講より250万円の寄付金

吉崎別院境内総合整備計画に 深いご理解を賜る

聞法会終了後、蓮如講長米村藤夫氏より、寄付金が輪番に渡されました。予てより、本堂と対面所の「雪囲い」設置のために蓄えられてきた寄付金。この度の鐘楼堂屋根瓦落下を受けて、輪番より懇切丁寧な工事着工の優先順位と別院の経済状況が説明されてきた中で、蓮如講としてご賛同とご理解をいただける形となりました。この寄付金は吉崎別院の「境内総合整備計画推進資金会計」に納められ、預金残高と合わせて、年内中には鐘楼堂のご修復本工事着工を行う予定です。尚、今後も中興（再興）上人と称された蓮如上人のご精神「教財一如」を基軸として、総合整備計画を遅滞なく推進してまいります。

